

近江八幡は、観るにも、住むにも、とても魅力的な街です。しかし、あまり気付かれていない…ので。少しでも多くの人に、この魅力を知ってもらいたいと思います。

～ 基本をしっかり勉強 ～

樋口 洋一

「近江八幡ふるさと観光塾」を受講して、普段何気なく歩いている近江八幡の街並みの中に、長い人の営みと奥深い歴史があることを改めて感じました。ボランティアガイド協会への入会は考えていなかったのですが、知り合いの方もおられ、とりあえず入ってみてはと勧められ、勉強させて頂くというつもりで決心しました。しかし先輩の方々の素晴らしいガイドぶりを拝見すると、本当に自分にガイドを出来るのか、観光客の皆さんの前で喋れるのかと不安ばかりが強くなっているところです。私は、城下町である旧市街地に住んでいますので、長年左義長の山車製作に関わってきました。山車製作も年々技術が進化しており、毎年各町内とも素晴らしい山車が出来上がっています。このような左義長製作の案内もできたらと思っています。とはいえ、まず近江八幡の歴史・文化を肌で感じ皆さんへ伝えられるように理解しながら、ガイドとしての基本をしっかり勉強することが大切だと思っています。先輩の皆様にはご指導いただき、早く一人前になれるよう研鑽していきたく思いますので宜しくお願い致します。



近江八幡ふるさと観光塾を終えて

～ コロナウイルス感染に配慮しながらの実施 ～

研修部長 中村 友宥

令和元年度「近江八幡ふるさと観光塾」が3月4日滞り無く終了することが出来ました。平成4年3月に「近江八幡ボランティアガイド協会」が設立された際、

- 1.近江八幡を訪れて頂くお客様への無料ガイド
- 2.行政及び観光物産協会が企画する各種イベントへの協力参加
- 3.全国・県ボランティアガイド連絡協議会主催の交流研修会参加
- 4.会員相互の知識向上、知識の共有、親睦を目的に研修の開催
- 5.市民の皆様へ、郷土の歴史・文化・産業・自然風土を学ぶ機会の提供

として「ふるさと観光塾」の開講を目的としたのです。

「近江八幡ふるさと観光塾」は、1月末から3月上旬までの間に実施する長期講座で、毎週一定の曜日に実施され6回講座が開かれます。今回が28回目となり、毎回20名から29名の受講者があり、今までで約700名以上の方が受講されたこととなります。今回の受講生は29名で、比較的暖かい日が多かったのですが、「コロナウイルス」という病原が発生し、人が集まる行事は自粛するようにお達しがあり継続できるか心配しましたが懇親会の中止や、受講生とガイドと距離を保つなど濃密接近にならないよう配慮をしながら実施しました。



<受講生の皆様の感想>

- 1.八幡で生まれ育ったのに知らないことが多かった、受講して良かった。
- 2.八幡の伝統的工芸品が沢山あることを初めて知った。
- 3.八幡別院、瑞龍寺などにこんな立派なお寺あることを初めて知った。
- 4.なんとなしに見ていた町並みがガイドの説明で歴史の重みを知った。
- 5.ヴォーリズの生き方に感動した。

などなど貴重なご意見が聞けたほか、八幡の観光に対する意見などもありました。

「近江八幡ボランティアガイド協会」では、八幡に観光されるお客様に対して「おもてなし」の心を忘れず、ふるさととの自然風土、近江商人の生き方など、歴史、文化を会員自ら郷土愛とボランティア精神を持って案内説明を行い、ふるさとへの理解、愛着を深めていこうと日々努力しております。

今後とも市民皆様方のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。